
魔法先生ネギま!? ～ 転生者と英雄と ～

kaito42

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔法先生ネギま！？～転生者と英雄と～

【Nコード】

N3062W

【作者名】

kaito42

【あらすじ】

転生者になった？こうなりやチート能力使って暴れてやるぜ！

この小説には、作者の勝手なアイデア（という名の妄想）があります。

それでも、いいという方だけお読みください。

プロローグ（前書き）

どうもはじめまして、kaito42です。未熟な作者ですが、
長くお願いいたします。
それでは本編のほうどうぞ。

プロローグ

突然だが俺は死んだ。

俺の名前は、海人、緋村海人だ。

まあ、車の前に自ら突っ込んだから当り前だろう。

そして今、俺は、真っ白な世界にいる。

（ここは？）

「やっと起きたか。ほおっほおっほおっ」

（なんだ？このぬらりひょんは？）

「ひどくない？神に向かつて？」

「うるせえ！脳みそぶちまけるぞ！てかしゃべれた！」

「さっそくだが転生してもらおう。」

転生？2次小説作品に多いあれか？

「うむ、あれじゃ。」

「心読むな、くそジジイ。まあ、そこは寛大な俺がゆるしてやろう。
んで、チート能力くれんだろ」

「うむ。でどんなのがいいんじゃ？。」

「説明めんどいから作者よろしく。」

な！仕方がない。魔力と気はめちやくちや高く。

思いどうりの武器が作れる能力

恒星の力（おもに太陽）を操る能力

龍の力を持ち、龍と話したり心を通わすことができる能力
ソーラメイカー
太陽創造を憑依（もう一人のカイトとして存在）

「っとこんなもんだ。ちなみにネギま！？だろ。」

「うむ。それとあちらの世界での名前は、カイト・G・ラスリルフ
イールドじゃ。またいつか会おう。」

ん？穴？ツて落ちてる！ああああああああああ

プロローグ（後書き）

作者（以後作）というわけで、プロローグでした。

カイト（以後カ）うん、初めてにしてはいい出来じゃね？

作　ありがとう、カイト。これからよろしくね？

カ　こちらこそ。彼の事を末長く見守ってください。

第1話 転生生活の始まり（前書き）

連投！！

第1話 転生生活の始まり

俺は今、カイトとしての生活を満喫している。いつもしている事？それはだな

1、魔法の修行

2、幼馴染のナギ・スプリングフィールドとの力だめし

3、龍との交流　ちなみにウェスペルタティアにて

まあ、こんなところだろ。ああ、あともう一人の幼馴染、アリナ・エクスエリア・セレーヌとも遊んでいる。

最近うれしいことがあった。1年前、3歳のときに弟ができたことだな。名前は、カイジだ。

あと驚いたのはエンテオフュシアの母を持つことだな。王位は捨てているが。

王家の魔力の修行は結構きつい。だが、これさえ使いこなせりゃほぼ最強じゃね？と思いつつ修行している。

最近、白き雷ぐらいの魔法は、使いこなせるようになったぜ。こらじゃここまで使えるのいねーし。

ちなみに魔族のハーフだぜ。人間にかなり近いが。

第1話 転生生活の始まり（後書き）

短いですがアイデアが浮かびません。

ここで募集です。皆さまからカイトチート能力の1つの武器なら何でも作れるという能力を使って作ってほしい武器を募集いたします。感想欄からどうぞ。

第2話 幼馴染のナギとアリナ（前書き）

どうも、kaito42です。今回は、前回ちよつと出てきたアリナについて詳しく出るはずです。あと、ナギも時間軸が飛びます。前話から、2年ほど後になります。

第2話 幼馴染のナギとアリナ

「カイトー！遊ぼうぜー！！。」

ナギが俺の家に来た。

「カイトー！遊ぼうー！！。」

アリナも一緒に。なぜかナギに対して怒りがこみあげてくる。まあ、それはさておき、

「いいぜ、何すつか。」

今はこいつらと遊ぶ事に専念しようか。これは、今しか出来ねーし。

「鬼ごっこ（という名の殺し合い）しようぜ！！。」

とナギ。

「えゝ、他のにしようよ。」

一番この中で足速いお前が言うか！アリナ！

「別にいいじゃん。」

「心読むなー！！ごほん、殺げふんげふん、鬼ごっこに決定！鬼決めるぞー」

じゃんけんで負けたのは、ナギだった。

「行くぞー、10、9、8、7、6、5、4、3、2、1、0！行

くぜ、魔法の射手・連弾・光の矢3本！！」

俺に向かって来た魔法の射手を、雷の矢5本で撃ち落とし、2本で攻撃する。もちろん無詠唱で。

「なっ！！」

チュドーンという音とともに雷の矢の電気でナギが痺れる音を聞いたが、放っておいてアリナを探しに行った俺。これが鬼ごっこという名の殺し合い（リアル鬼ごっこ？）である。ちなみに大人にばれたら終わりの遊びである。俺の両親は魔法の力試しになるとか言っ
て見て見ぬふりしてる。（モンスターペアレントがいたら、絶対訴えられそうな両親である。）

そうこう言っているうちにアリナを見つけた。よし、チート能力の

1つ、武器づくり試すか。

「生成！太陽銃ソルバースト！月光銃ルナシルバー！」

よしできた！この二つの銃は、火属性の銃と氷属性の銃であって魔力を使って撃つがために俺が使えば半永久的に撃つことができる。

さらにさらに、魔力を込めて撃てば量によるが、森一つ消せちゃうすごい銃なのだ。まずは、アリナの足を凍らしてつと　そこだ！

「ひゃっ！」

かかった！よし、あとは白き雷でとどめをさしてハイ終わり。

ふう、意外に時間かかったな。よし帰るかと思ったその時村で大変な事が起きていた事を知る由もなかった。

第2話 幼馴染のナギとアリナ（後書き）

まあ、こんなところでしょうね。次回は大きな転換点になると思います。

第3話 絶望×決意×旅立ち

side:カイト

村が焼けてんじゃねえか!!うそだろ!!

ん?あれは、連合の兵じゃねえか。

ゆるさねえぞ連合!!!

side:連合兵

くくく、メルディアナの校長の息子がいないときを見計らい、裏切りの女王アンナ・ウエスperl・エンテオヒュシア(カイトの母親)を捕えるという名目の下、魔族のギルダーツ(カイトの父親)を殺すのだ。それと同時にその一家を壊滅出来ればいいがな。クッククク。

side:アリア

カイトが走って村へ行った。いやな予感がする。

ナギを探してカイトの所に行こう!

私が行くまで生きててね、カイト!

side:カイト

なんか、勝手に殺された気が...

ま、まあ気のせいだよな。うん。

とにかく、完全武装で行くぜ!

「精製!!神刀!!神楽!!!!!!」

この刀はツてめんどくせえ作者よろしく!

はあ、またか。どうも、作者です。

神楽の説明をしましょう

あらゆる物、者を切り裂く刀で、どんなに硬い鎧でも簡単に斬って命を奪うという5歳児が持つてちゃいけないような刀である。

「ッと言うわけだ！！どうだ、すげえだろ！！！」

はっ！！俺はいつたい誰に話していたんだ！ああ、読者か。

とにかく、急がねえと！！！！

side out

村が焼け、人が殺され、村は1大事を迎えていたがイギリスが動くはずもなく【認識阻害魔法が掛けてあるため】何も知らない一般人の皆様方はなにが起きたかも分からず死んでいった。

これで一般人が居なくなり後にこれが、ネギの秘匿意識を無くすきっかけになったのは、また別のお話。

side：ナギ

アリナがこつちに走ってきた。

なんだか急いでるみてえだがって何！！

カイトの奴、無茶しやがって。

1人で抱え込む奴だからなあいつは。

今、このナギ・スプリングフィールド様がお前の所に行つてやる。

それまで待つてろよ！！！！

side：カイト

「うおおおおおりゃー！！！！」

俺は、今絶賛敵軍隊のど真ん中に来ています！！！！

付近にお住まいの方にはすぐに逃げてくださいだと思います！！！！

カイト台風（笑） 上陸中

連合の野郎どもがどんどん気持ち悪くなるほど血を噴き出し倒れていく。

太陽銃ソルバーストと月光銃ルナシルバーをガンガン撃ちまくり、神楽でジャンジャン斬りまくり、一個小隊が、消えた。

血が神楽に集まりびゅつと振れば血が飛び散る。髪について血がなぜか知らんが染みて朱色あかいろに染まっていた。

ここで俺は意識を手放した。【魔力切れにより】

side:ギルダーツ

急いでこれを渡さねえと！！

あいつ王家の魔力使えるからって、頭にきて使ってないよなあってビンゴ！！魔族だから分かるんだが王家の魔力使った痕跡が無い！！そして魔力で撃つ銃で魔力切れって／＼／＼いぶん撃ちっ放したったみたいだな。って、そうだ！！！！これをこいつの首につと。この石は、グレイセスと言って、使い手を選ぶ特別な石らしい。なんでも、カイトに反応したとかで届けてこいってアンナに言われただけで俺も詳しくは知らん。あと、アンナの剣『姫巫女の剣』もここにおいてくぜ。

じゃあな、カイトしばらく会えないだろうけど。待ってるぜ

side out

ギルダーツとアンナが連合に降伏したことで終わったこの小さくとも大きかった戦いはたったら歳の子供に一生を懸ける目標を作らせてしまった。

その子供とは、言わずもがなカイトである。カイトはこの時両親を助け出すというとても小さくともとても大きい決心をしたのだった。

次の日、カイトは

「知らない天井だ。」

と、ありふれた言葉を放った。

「何が知らない天井よ!!!」

そして、アリナに怒られるのだった。

[illegible]

カイトは作者に八つ当たりした！！！！

ああ、なんということでしょう【ビフォー・フター風に】主人公が創造主である作者に暴行を……って痛い、痛い、ほんとに痛いって……！そして、神楽を出さないで……ザシュ、ザザザザン……！！

ブシュー……くってっ

作者、さらばって殺すな！。

「何生きているだ!!!!」 あとがきが続く!??

まあ、それはさておき、

「俺は魔法世界に行く……！そして父さんと母さんを助け出す……！！」

「ちよつと待てよ!!俺も行くぜ!?!お前は、なんでも一人で抱え込むからな!!!!」

「ナギ、お前は、まず魔法学校で基本を学べ！！それから来い！！」

「一人で抱え込むか……肝に銘じておくよ。じゃ、まずは、向こうで仲間を探しますか。ま、俺が強くないと付いてきてくれな
いだろうから向こうで師匠を探しますか。」

「杖よ!!じゃあ、行ってくるよ。」

「カイト!!!絶対帰って来ないと承知しないからね!!」

「分かってるよ!!」

そしてカイトは旅立って行った……

第3話 絶望×決意×旅立ち（後書き）

本編作者VSカイトの戦いの続き

「ふふふ、私は作者だぞ、お前たち如きに負けるか!!!」

「くらえ、〇。〇。! ! !」

【後に出てくる武器】

「のぎゃ〜〜〜」

「のねっ」

カイトは倒れた

アリナは怒っている！！

「私の家を血だらけにすんなああああああ！！！！！！！！」

この戦いアリナの勝ち！！！！！！

武器紹介コーナー！！

ドンドンパフパフ

作者（以下作）「このコーナーでは武器の紹介をします。」

カイト（以下カ）「このコーナーはいいんじゃないか？」

作「今回御紹介するのはこちら！」

じゃじゃん

姫御子の剣

この剣はアリカが29?巻で持っていた剣と似ている。

この剣にはリライトが使える。

また、
完全なる世界が起動させようとした魔法世界全域にかかるリ
コズモ・エンテレケイア
ムンドウス・マギスク

ライトのカギの一つでもある

力「意外に怖いな（汗）」

作「次回もお楽しみに！」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3062w/>

魔法先生ネギま!?～転生者と英雄と～

2011年11月15日08時33分発行